

研究機関：広島大学

研究課題名	生体肝移植ドナーの手術成績に関する研究
研究責任者名	広島大学大学院医歯薬保健学研究科 消化器・移植外科学 教授 大段 秀樹
研究期間	2019年3月20日倫理委員会承認後)～2029年3月31日
対象者	2019年3月20日(倫理委員会承認後)～2028年12月31日までに、広島大学病院消化器移植外科で生体肝移植ドナーとして肝グラフト採取術を受けた方を対象とします。
意義・目的	<p>成人間生体肝移植におけるドナーに関しては長期予後に関する情報は乏しく、その身体的あるいは心理的な損失あるいは生活色けなどに抑圧されておられます。今回、肝移植ドナーに対する</p> <p>肝グラフト採取術のさらなる安全性の向上への指針を確立することを目的とし、この研究を計画しました。</p> <p>方法</p> <p>本研究は、全て診療録(カルテ)情報を転記して行います。カルテから使用する内容は年齢、性別、血液検査、切除術式、病理所見、成績(術中出血量、手術時間、術後合併症、術後在院日数、予後)などです。(個人を特定可能な情報は解析に用いません)</p>
共同研究機関	